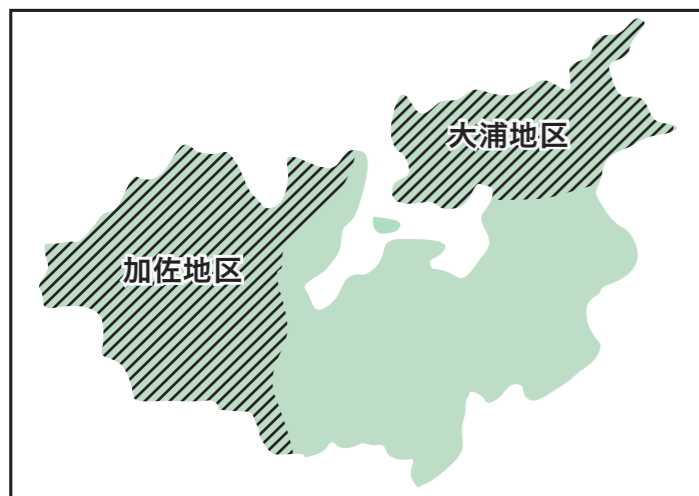


(図2) 移住促進特別区域



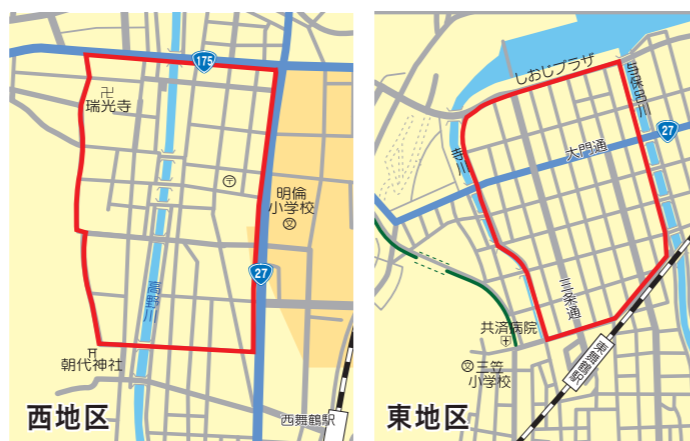
農村集落空き家情報バンク登録物件への移住者

年度	組数	人数
平成25年度	3組	9人
平成26年度	3組	4人
平成27年度	8組	20人
平成28年度	4組	8人
合計		41人

平成25年度の補助制度ができてから4年間で41人が移住されました

(図1) まちなかエリア空き家情報バンク対象区域

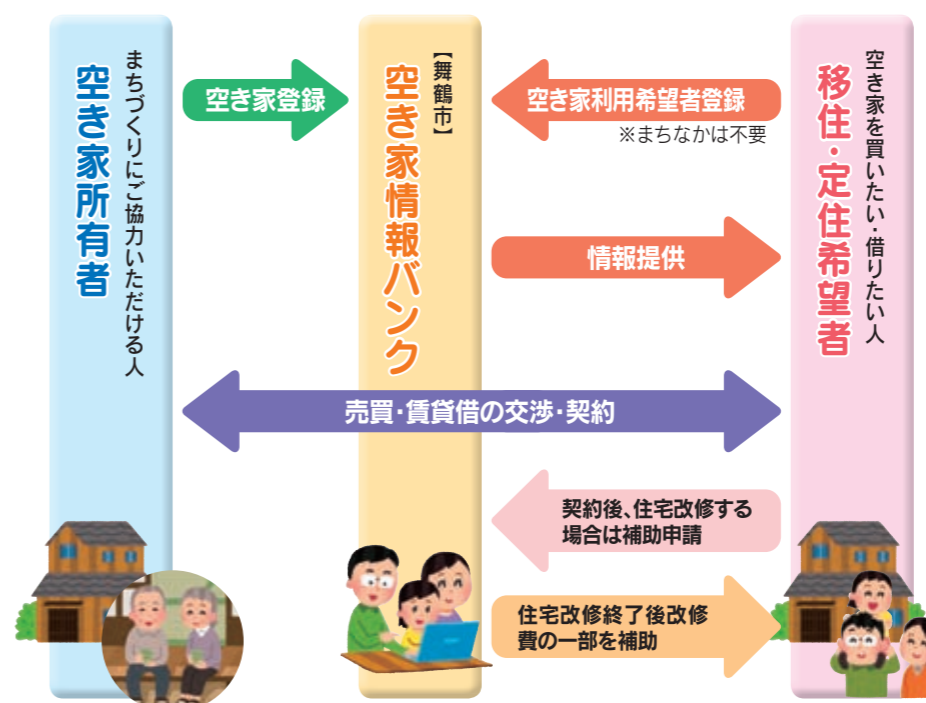
《赤い線の中が対象区域》



空き家情報バンクの種類と区域

空き家情報バンクの種類	区域
まちなかエリア空き家情報バンク	商店街区域周辺(図1)
農漁村空き家情報バンク	市街化調整区域
	都市計画区域外

空き家情報バンクの利用イメージ



# 移住者の迎え入れと 空き家の活用

シリーズ市政の「今」。今回は、舞鶴市への移住・定住をサポートする取り組みを中心にお伝えします。

## ◆移住先としての舞鶴

「違う土地に移り住みたい」と思ったことはありますか。あるとすれば理由は何かでしょうか。

移住先、定住先として「舞鶴市」を選択する人々が増えています(6〜7ページ関連記事)。移住先を探して舞鶴に来られた人、都会に移り住んだけれども再び舞鶴へ戻って来られた人、仕事の関係で舞鶴に来てそのまま定住された人など理由はさまざま。世帯構成も単身世帯や子育て世帯、定年を迎えて仕事に一区切りついた世帯など多様です。「自然が豊かなところで暮らしたい」「子育てしやすい環境のところがよい」「農業がやりたい」「生まれ育ったところで暮らしたい」など、舞鶴に魅力を感じて来られています。

しかし、どのような生活スタイルでも必ず必要となるのは「住居」。移り住む

ことを考えている人にとっては、住居の確保が大きなポイントとなります。

## ◆空き家の活用

一方で、少子高齢化などに伴う人口減少により、全国的に空き家の増加が問題となっており、舞鶴市も例外ではありません。もちろん、「建物を資産として保有し続けられる」「すぐに戻れる安心感がある」といった理由で所有者が家を空き家のまま保有される場合もあります。しかし、管理費用などのコストや防犯面のリスクなどの負担がかかり続けることにもなります。また、空き家を放置することで景観を損ねたり、近隣住民とのトラブルの原因になる場合もあります。

そのような中、市では、舞鶴市への移住・定住の促進を重要施策として位置付けて重点的に取り組んでいます。その

## ◆多様な移住のスタイルへの対応

移住の動機は人それぞれですが、舞鶴を移住先として考えている人が多くいる中、受け入れ側の体制として、空き家情報バンクで紹介できる物件が多いほど、その人の生活スタイルにあった物件を紹介することが可能となります。そのため市としては、市内に空き家情報バンクの諸条件に合う空き家を持ち、まちづくりのためにご協力いただける場合は、ぜひ、空き家情報バンクにご登録をお願いしたいと考えています。登録した空き家は、その物件情報を広く提供することで、移住者・定住者をサポートし、地域の活性化にもつながるように取り組みを進めていきます。

一つとして「空き家」をこれからのまちづくりを生かすため、「空き家所有者」と「移住・定住希望者」のマッチングを行い、双方にメリットが生まれるよう「まちなかエリアの空き家」と「農漁村の空き家」について、移住・定住促進の取り組みを行っています。いずれも「空き家情報バンク」に、賃貸や売却できる空き家を登録してもらい、その物件情報を希望者へ提供する仕組みです。「まちなかエリアの空き家」は都市計画課、「農漁村の空き家」は農林課で相談を受け付けています。

「まちなかエリアの空き家」の対象区域は商店街区域周辺(図1)で、登録物件を購入か賃借し定住する場合、住宅の改修工事費用の4分の1〜2分の1を補助(上限額あり)する制度があります。

そして「農漁村の空き家」の対象区域は、市街化調整区域と都市計画区域外で、その中でも、加佐と大浦地域では全ての自治会が移住促進特別区域(図2)として京都府から指定されました。それに伴い、空き家情報バンク事業を活用した集落の担い手となる市内外からの移住者に住宅の改修費用(市内での移住90万円、市外からの移住180万円)を、空き家の所有者に家財処分にかかる費用(10万円)を補助する制度が活用できます。

舞鶴に住んでいると気が付きにくいですが、食べ物もおいしく自然とも程よく共存でき、なおかつ1〜2時間で都会へも出ることができると、移住者にとって魅力的な多くの要素を持っています。多くの移住者を迎え入れるためには、地域の皆さんのご理解・ご協力と行政との連携が必要です。今後、移住者を温かく迎え入れるためのさまざまな施策を実施し、活気のあるまちづくりを進めていきます。

